

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

559

ロケ誘致事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		ロケ誘致事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 谷 昌樹 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
事業目的	映像を通して本市の認知向上やイメージアップを図り、観光誘客に努める。		各種ロケの誘致活動や、本市で行われるロケに対する支援活動を充実させることにより観光振興を図る。		
事業内容	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
	○映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供 ○エキストラの手配、撮影の同行 ○和歌山市ロケ地情報の作成	映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行、和歌山市ロケ地情報の作成	映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行、和歌山市ロケ地情報の作成	映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行、和歌山市ロケ地情報の作成	映画・ドラマ等のロケ撮影に対する情報提供、エキストラの手配、撮影の同行

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	76	76	76	76	0	0	0	0	0	0
伸び率(%)	△45.3%	△56.8%	0%	0%	△100%	△100%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	10,829	10,351	10,085	10,550	9,648	9,424	9,648	0	0
	正規職員以外	166	166	514	514	514	514	0	0	0
	小計	10,995	10,517	10,599	11,064	10,162	9,938	9,648	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	76	76	76	76	0	0	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	1.36	1.30	1.30	1.36	1.29	1.26	1.29	0.00	0.00
	正規職員以外	0.09	0.09	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
ロケ実施件数	件	目標値	50	50	50	50	50
		実績値	18	44	23		
		達成度(%)	36%	88%	46%	%	%
ロケ実施件数	件	目標値	50	50	50	50	50
		実績値	18	44	23		
		達成度(%)	36%	88%	46%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○ できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小		○		
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	T V番組、映画などの撮影に対する誘致、支援活動を充実させ、メディアに露出する機会を増加させることで本市の観光資源の魅力をアピールしていく。
見直し・改善内容	コロナ禍で落ち込んだ観光需要も回復してきていることに加え、今後は流動的な観光市場に対応した事業を早急に整理していく必要があるため、事業縮小も併せて検討する。